

住民目線で問題点を洗い出し共有 ～意識変化を促す行政の調整と「数字」の力～ （憩楽クラブかつらぎ・和歌山県かつらぎ町）

1. 住民目線での問題の洗い出しと共有

憩楽クラブかつらぎ（以下、憩楽クラブ）は、準備委員会を行う前に、平成19年8月から毎月1回ペースで全5回の設立検討委員会を開催しました。メンバーは、10名前後と、オブザーバーとして教育委員会から生涯学習課課長と社会体育係2名に参加してもらい話「今のわが町は、子育てにやさしい地域かどうか？」などの意見交換が行われました。

当時、町内の児童数890名のうちスポーツ少年団登録児童数が232名、残りの児童数658名は、何をしているのだろうか？ また、少年団の種目には、女子の参加できる種目が少なく、登録者も36人と非常に少ないことなども数字の分析でわかったことです。これを受けて、「総合型クラブは、必要だから設立しよう」という意見がまとまっていきました。

2. 地域のキーマン、全団体の代表に話を聞いてもらう

設立準備委員会への移行にあたる設立説明会には、設立検討会で出た意見を、笠田地区に関わると思われるすべての方に聞いてもらいたいと考えて、町長、教育長、町会議員、かつらぎ町内自治区長、青少年育成協議会会長、老人クラブ連合会笠田支部長、民生・児童委員、体育指導員、4種目のスポーツ少年団代表の方に声をかけ、拠点地域に関わるすべての代表に話を聞いてもらう機会を設定しました。

設立説明会は、約2時間程度の会でした。具体的な内容は、日本体育協会発行の総合型クラブ啓発DVDの映像資料15分程度、憩楽クラブについてのこれまでの全5回の検討内容説明と各団体へ説明機会の創出依頼など20分程度、県内の総合型クラブの現状についてクラブ育成アドバイザーからの説明、その後、各団体の代表から地域の現状の発言いただき、協議しました。

クラブ設立のキーマンは、「映像の説得力は非常に高いため、日本体育協会発行の啓発DVDはぜひ活用すべき」とのことです。

この設立説明会がきっかけで、地域のイベントや各団体の定例会（老人クラブに1回、民生児童委員会に2回、PTA総会に1回、小学校の運動会に1回、体力測定会に1回など）へ出向き、説明を行う機会を得ることができました。設立説明会後の準備委員会は、記録にあるだけで1年目に17回もの会議を行っています。

3. 町の現状を数字で分析し意識変化を促す

憩楽クラブの成功の鍵は、町の総合型クラブ担当者に設立検討委員会の段階から関わってもらっていたことです。当初、クラブ設立のキーマンから町の総合型クラブ担当者へ総合型クラブ設立の協力をお願いに行った段階では、「スポーツ少年団が活発な地域なので総合型クラブを創る必要はない」という考えでした。そこで、クラブ設立のキーマンは、町内の児童数に占めるスポーツ少年団登録児童数を確認し、「加盟していない児童のためのクラブを作りたいので協力して欲しい」と説得しました。その後の会議にも必ず出席してもらったことで、今では「地域の組織力がこれからのまちづくりを動かす」と言ってくれるまでに変わりました。

町長からも、「このクラブに期待している」との宣言があり、教育委員会が地域団体や学校との調整を裏方として行っていることが、住民の理解や当事者意識に大きな影響をもたらしたようです。



（南 由佳 和歌山県クラブ育成アドバイザー）

笠田地区の公民館の1室を事務所としている

【憩楽クラブかつらぎ プロフィール】

1. 設立

設立年：平成21年11月29日

2. 地域

人口：約5,000人

特性：農家・個人商店が多い小学校区

3. クラブ

会員数：約250名

特徴：小学校区を拠点とし笠田地区の公民館の1室を事務所としている

予算規模：約1,060万円

4. 連絡先

〒649-7161 かつらぎ町笠田東396-3笠田ふるさと交流館2F

TEL・FAX:0736-22-1023 E-mail：ikora@swan.ocn.ne.jp

URL：<http://www12.ocn.ne.jp/~ikora>